



昭和45年をふりかえる

ことしの広報紙から

二十世紀後半への幕明けの年として、内外に数々の話題を残した昭和四十五年も、間もなく終ろうとしています。ことし一年の広報紙の中から

主なできごとを拾ってみました。振り返ってみると、編集技術の未熟さを痛感しますが、皆さんに愛される広報紙づくりに、来年こそがんばりたいと思います。良いお年をお迎えください。

○名誉市民に

佐々木耕郎氏を推挙 二月
日光市名誉市民に佐々木耕郎前市長を推挙、二月十一日に市役所大会議室で推挙式が行なわれました。

○駅前土地区画整理事業

第二工区に着手 二月
松原町中央交通前の市道から御幸町天理教会に至る国道南側の「土地区画整理事業」が着手されました。

○馬返・明智平間の

ケーブルカー廃止 三月
三十七年間も、馬返と明智平間を走り続けてきたケーブルカーが、三月三十一日を最後に廃止されました。



〔最後の運転に向うケーブルカー〕

○日光中学校

校舎新築工事完成 五月
鉄筋コンクリート三階建ての近代的な日光中学校舎が完成しました。工費は三、八八〇万円でした。

○スポーツ少年団結成 五月

スポーツを通じて少年の心身を鍛練するための「日光市スポーツ少年団」の結団式が、五月二十三日、東中校庭で行なわれました。



〔スポーツ少年団の結団式〕

○二荒山外苑陸上競技場

第一期工事完成 七月
高地競技場としての同競技場の第一期工事が完成、札幌オリピック選手団に、さっそく利用されました。

○広域う回路等

対策協議会を設立 七月
総合的交通対策を推進するため、「日光周辺地区広域う回路等対策協議会」が星野市長を、会長として設立されました。

○県内農村青少年

野外集会開く 七月
七月二十日から三日間、戦場ヶ原で第十五回農村青少年野外集会が、農村青少年一、二〇〇名が参加して開かれました。

○含濁ヶ淵の

開発に着手 八月
うずもれた観光資源の開発として、含濁ヶ淵をストーン・パークとして開発する計画が着手されました。



〔含濁ヶ淵を視察する市長一行〕

○47年冬季国体

開催地に決定 八月
四十七年の第二十七回冬季国体スケート部門が、日光で開催されることに決定しました。

○新助役・収入役決まる 九月

九月の市議会定例会で、新助役に齊藤善蔵氏を、また収入役に上山忠夫氏を選任することが同意され、教育長には篠崎光太郎氏が再任されました。

○第一回

社会福祉大会開く 九月
新しい社会福祉の推進をめざして、初の社会福祉大会が九月四日、日光スケートセンターで開催されました。

○交通指導員が誕生 十月

児童・生徒を交通事故から守るため、交通指導員が誕生し、市内十一か所で、制服姿もりしく、交通指導にあたられています。

○佐藤総理大臣

日光に來訪 九月
九月二十一日、佐藤総理が日は一月四日(月)から行ないます。

○ゴミの収集は

ゴミの収集は、年末は三十日(水)まで、年始は一月四日(月)から行ないます。

○し尿汲み取りは

年末は三十日(水)まで、年始は一月四日(月)から行ないます。

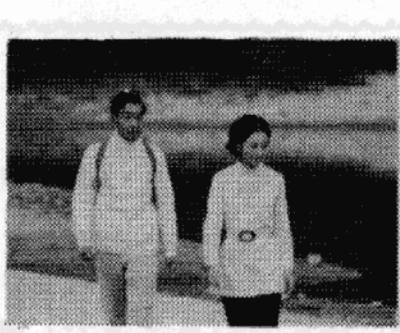
光市に來訪、初秋の日光を探勝になり、星野市長とも懇談されました。



〔星野市長らの歓迎を受ける佐藤総理〕

○皇太子ご夫妻

秋の奥日光をご探勝 十月
十月七日から三日間、皇太子ご夫妻が日光を訪れになり、白根山など、秋の奥日光をご探勝になられました。



〔切込・刈込湖をご探勝の皇太子ご夫妻〕

編集 総務課文書広報係
印刷 中津印刷所
発行 栃木県日光市中鉢石町999
日光市役所
電話 ④1111 (代)